

本時のねらい

・「はじめ」「中」「終わり」の「中」の事例の順序の工夫（筆者の意図）を理解し、他の場面においても同じ順序で説明文を組み立てることができる。

本時における1人1台端末の活用方法とそのねらい

・オクリンクのカードを使って「中」の事例の順序を入れ替え、考えを深めることができる。
・全体で意見を共有することで、友だちの考えを解釈するなど、他者との関わりを深めることができる。

活用したICT機器・デジタル教材・コンテンツ等

- ・ iPad
- ・ オクリンク
- ・ デジタル教科書

本時の展開

学習の流れ	主な学習活動と内容	ICT活用のポイント・工夫
導入 (15分)	<ul style="list-style-type: none"> ○本文の「中」を音読する。 ○「中」でどんな事例が出てきたか、筆者の説明の工夫を思い出す。 ○本時の課題提示 「『中』のならばかたを参考に次の食品をならばかえよう」 	<ul style="list-style-type: none"> ○デジタル教科書を使って、本文に出てきた事例（食品）を確認する。
展開 (25分)	<ul style="list-style-type: none"> ○「すがたをかえる米」「すがたをかえるぶどう」という題名だったらどの順序で説明すると良いか考える。 ○友だちの意見を解釈したり、自分が考えたことの理由を発表したりする。 ○まとめを書く。 	<ul style="list-style-type: none"> ○オクリンクのカードを使い、それぞれの食品の順序を入れ替える。 【米】…白米、おにぎり、もち、酒 【ぶどう】…ワイン、ジュース、レーズン、ぶどう（もぎたて） ○一覧表示で全員の意見を確認できるようにする。
まとめ (5分)	<ul style="list-style-type: none"> ○今日の学習を振り返る。 	

1人1台端末を活用した活動の様子



写真1：デジタル教科書を見て、前時の授業を振り返る様子



写真2：もしもぶどうだったらどんな順序で事例を説明すればよいかを考える様子



写真3：どんな順序になったのかを全体で共有する様子

児童生徒の反応や変容

・大豆は加工がされていないものから順に説明されていることを確認し、「もしも米、ぶどうだったら…」とオクリンクの画面上で試行錯誤ができていた。
・全員の考えを一覧表示にすることで、瞬時に意見を共有でき友だちの意見を解釈したり理由を発表したりする時間を確保できた。

授業者の声～参考にしてほしいポイント～

・デジタル教科書を活用し、文章に色を変えて線を引いたり、気づいたことをメモしたりして、後から見返したときに復習に役立てることができる。
・オクリンクを活用することで、子どもたちが事例の順序を自由に入れ替えることができたり、全体で共有したりすることができる。
・友だちの様々な意見を瞬時に把握することができ、それを参考にしてもう一度自分で考えることができる。